

ゆあさ 議会だより

平成28年11月発行 No.64

発行：和歌山県湯浅町議会
編集：議会広報編集常任委員会
住所：〒643-0002

有田郡湯浅町大字青木668番地1

TEL 0737-64-1118

FAX 0737-62-4450

URL：http://www.town.yuasa.wakayama.jp/

e-mail：gikai@town.yuasa.lg.jp

現在

伝統を引き継ぐ秋まつり

昔

昭和27年の北戎神社付近
(写真提供 梅野 茂 氏)

9月定例会

全員協議会・各委員会	2～5
各議員の賛否	5
一般質問(8人が登壇)	6～13
編集後記	14

若い世代の定住を応援

浄化槽設置整備事業補助金

663万円

定住促進奨励金

150万円

平成28年度一般会計補正予算 9,090万円

平成28年第3回定例会を9月7日から16日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された各会計補正予算、条例改正、平成27年度水道事業会計決算など、提案された諮問1件、議案10件、報告1件を原案の通り可決・承認しました。

(単位：万円)

項 目	補 正 額	主な歳出の説明	補正後の額
総 務 費	3,646	地方創生推進交付金業務委託、マイナンバーカード作成業務委託など	8 億 624
民 生 費	299	前年度子ども・子育て支援事業補助金精算分など	20 億 9,651
衛 生 費	990	浄化槽設置整備事業補助金、前年度養育医療給付事業負担金精算分など	8 億 61
農林水産業費	921	青木地区農道改修工事など	1 億 8,878
商 工 費	33	職員共済組合納付金など	1 億 854
土 木 費	2,950	町内各道路改修工事、定住促進奨励金、同和対策住宅新築資金等特別会計へ繰出など	4 億 1,468
消 防 費	83	消防団用雨衣	2 億 7,526
教 育 費	168	職員共済組合納付金など	6 億 1,658
歳 出 合 計	9,090		59 億 8,846

※補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。



町内各道路改修（なぎ区漁港周辺）

定住促進奨励金

町内に住宅を取得しようとする若年層に30万円を支援します。

※申請者や住宅の条件は建設課 管理係へ（☎ 64-1124）

浄化槽設置整備事業補助金

合併浄化槽を設置する場合の補助金です。

5人槽	332,000 円
7人槽	414,000 円

※対象地域などの条件は住民環境課 環境係へ（☎ 64-1102）



全員協議会

人事案件

○人権擁護委員候補者の推薦

引き続き星山俊二氏を適任と認めました。

○教育委員会委員の任命

引き続き竹井猛氏を任命することに同意しました。

○公平委員会委員の選任

引き続き阿瀬誠一郎氏を選任することに同意しました。



(一般会計予算)

問 浄化槽設置整備補助金・定

住促進奨励金について、今後さらに要望が多くなった場合どうしていくのか

答 要望が多い場合は予算を増額していきます。



問 青木地区農道改修工事(野

中池)について安全のための柵は付くのか

答 ガードパイプかフェンスで検討していきます。



青木地区野中池周辺

問 防災行政無線局は何処へ移

設するのか

答 旧中央公民館の売却に伴い、隣接する消防車庫も移設します。防災行政無線局についても消防車庫の敷地内へ移設します。



総務文教常任委員会

主な条例制定・議案

○行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

「マイナンバー法」に定められている事務以外に、条例に基づいてマイナンバー付きの個人情報を取り扱うことができる事務の範囲を広げ、新たに「保育料の減免」と「不妊治療に要する費用の助成」の2つの事務を加えるものです。



福祉産業建設常任委員会

主な条例制定・議案

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童1人の専用区画の面積が基準に満たない場合の経過措置です。

問 安心・安全な子育てを行うためには、放課後児童施設の整備が必要ではないのか

答 既存の学校施設の活用を関係部局と協議し、今後建替えも視野に入れ、検討します。

○平成27年度水道事業会計決算認定

収益的収支は事業収益が2億5824万8855円に対し、事業費用2億5742万601円となり単年度収支は82万8254

円の純利益となっています。

また、資本的収支は、収入はなく、支出として建設改良費及び企業債償還金で9099万6895円、不足額9099万6895円は、損益勘定留保資金等で補ってんでいます。

問 毎年行っている漏水調査の時期や漏水件数は

答 調査時期は、10月から11月頃です。調査による漏水件数は、少ない年で15件から20件、多い年は約40件発見し、修理を行います。



平成28年度 特別会計補正予算

(単位：万円)

項 目	補正予算	説 明	補正後の予算額
国民健康保険事業	386	前年度交付金等の精算による返還金など	23億684
同和対策住宅新築資金等	2,500	繰入金	3億332
介護保険事業	2,672	前年度交付金等の精算による返還金など	13億7,760

※補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。

人権推進特別委員会

【議 題】

○町民人権学習会について

報告 人権尊重委員会における活動内容及び、今月下旬から、

町、教育委員会、人権尊重委員会、三者合同での町民人権学習会が「障がい者の人権」をテーマに、町内22ヶ所で開催されるということです。

要望 県内において、人権学習会を実施しているところは当町だけだと思うので引き続き実施してほしい。

要望 障害を理由とする差別を解消する法律ができたことにより障がい者の方々のため、今後どのようにしていくのか、考えてほしい。



まちづくり・防災特別委員会

【議題】

○湯浅町版総合戦略について

○湯浅町成長戦略特別参与について

○旧庁舎解体工事について

○旧庁舎跡地整備工事について

問 ゆあさ海の駅事業について、今後の町との係わりについてはどうなるのか

答 民間主体の活動が展開できるよう海の駅協議会の取り組みを見守っていきます。

問 湯浅町成長戦略特別参与について人数を増やしていく予定はあるのか

答 今後、対象に合致する方がいれば、町長が委嘱をしていく

考えがあります。

要望 旧庁舎跡地の観光レクリ

エーション施設整備工事については、駐輪場の設置や後の維持管理も含め、実施設計を進めていってほしい。



旧庁舎跡地

9月定例会

審議結果	議案名等	石橋千歌子	小松英夫	松本光成	石本一也	横矢政明	山家敏宏	山田真里	由良祥治	山本年哲	松本典久
可	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	教育委員会委員任命の同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	公平委員会委員選任の同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	和歌山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度同和対策住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成27年度水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 松本典久議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、－は退席



安心・安全のまちづくりに向けて

- ①人権問題で国の動きに対応した町の考え方について
- ②マイナンバー制度の導入による個人情報保護対策について
- ③同和問題に対する意識の問題について
- ④産業就労対策について



石本 一也 議員

質問①

部落地名総鑑の復刻版が鳥取ループ・示現舎の手で、インターネットを通じて販売されようとした差別事件が発生しました。

国の動きとして、この秋の臨時国会で、部落差別の解消の推進に関する法律が施行されようとしています。

これを受けて、町は、人権行政をどう進めていくのか。他の自治体に先がけて県下一の人権のまちを目指していただきたい。

答弁(町長)

部落地名総鑑の復刻版の販売というあつてはならない行為に出た鳥取ループ・示現舎に対して大きな憤りを感じています。

また、国の動きに速やかに対応できるように人権施策推進委員会で検討をさせています。

質問②

昨年の十月からマイナンバー制度が実施されたが、以前プライム

社がやった不正取得事件が、また起こる可能性がある中で、本人通知制度に登録した人だけでなく、すべての住民に対して、通知をするような制度に変更してはどうでしょうか。

答弁(町長)

マイナンバーは、非常に大切な番号で、他人に知られると大変な問題になりますので、職員には、その取扱いに十分留意するよう指示していますが、本人通知制度の登録が29人で、登録者を増やすよう広報していき、制度が浸透する中で、全住民にお知らせすることも考えていきます。

質問③

同和对策審議会答申から五〇年を経て、同和对策事業で様々な施設が整備されてきました。そして、その施設は、多くの住民の方々が利用し、利便の供与にふされています。

しかし、その施設を利用する方

たちの同和问题に対する意識が希薄に思えます。町としてどのような啓発をしていますか。

答弁(産業観光課長)

啓発は、県が実施する企業人権研修会等に積極的に参加するよう依頼していますが、今後、より一層啓発を強化していきます。

質問④

私が、再三質問をしてきた「ワーキングプア」をなくすための公契約条例制定に向けた取組はどうなっていますか。

答弁(総務課長)

視察先を検討していましたが、今回、奈良県を視察する予定となっています。

再質問

庁内の人権施策推進委員会で部落差別解消法についてどのような議論をしていますか。

答弁(副町長)

委員会で色々議論しています。





①伝建地区の防災について

②姉妹都市提携30周年を迎えて

③教育委員の欠員について

④旧庁舎跡地の利用について

横矢 政明 議員

質問①

伝建地区の防災計画は。特に火災に対する防災を尋ねます。

答弁（総務課長）

伝建地区の防災計画についての進捗状況ですが、計画では防火水槽をあと2ヶ所設置することになっていきます。消火栓の増設についても今後検討していきたいと思っています。

答弁（町長）

今回の火事の教訓を受けて、県や国の協力を得て、地域の皆さんの協力を得ながらやっていきたい。

質問②

姉妹都市提携30周年を迎えて、町から訪問団を派遣しました。今後の姉妹都市交流をどのように進めていくのかお尋ねします。また、訪問団の派遣の仕方についてもお尋ねします。

答弁（町長）

これからの国際交流は公的に交流をしていくより民間交流という形で進めていくべきと思っています。お互い公的な公人同士の交流と民間同士の国際交流をわきまえて、やっていきます。

国際交流をやることが町益になるのかも検討しながらやっていくべきだと考えています。

質問③

教育委員が欠員のまま8年が過ぎました。なぜ一名欠員のままなのかをお尋ねします。

答弁（町長）

欠員が生じている現状は望ましいとは考えておりません。新しく教育委員会制度が変わりました。そういう関係の中で、教育委員一人を至急選んでいきたいと思っています。

質問④

今まで町民が利用していた旧庁舎敷地内の道路がなくなるとのこと、町民が大変心配しています。どうして今まで利用していた道路がなくなるのか説明願います。

答弁（町長）

旧庁舎跡地は、今後駅前開発をしていく上で、全町民のためにより有効に活用しなければならいと考えています。道路があることが良いのか悪いのか、危険か安全か、まず近くの人々がどう考えるのか意見を聞いていきたいと思っています。今まで利用していた道路は町道ではなく、町有地であります。その辺を十分に理解を求める必要があると思います。一番最良で町のためになる施設にしていきたいと考えています。





①保育所での就学前教育の更なる充実を

②二戸連住宅の払い下げについて

山本 年哲 議員

質問①-1

保育所での就学前教育の更なる充実について質問させていただきま。現在、湯浅町は3力所の保育所があり、主に町内に住む0歳児から5歳児の乳幼児の保育を行っています。この0歳児から5歳児までの乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要で大切な時期と私は思います。国の方でも乳幼児期の教育の重要性については改正された教育基本法において、その重要性が規定され、全国的に乳幼児期の就学前教育に力を入れ取り組んでいるところでもあります。現在3保育所では乳幼児期の子どもに對しどのような保育がおこなわれているのか、また今後は保育所でも就学前教育を実施していく考えがあるのかお聞かせ願います。

答弁(健康福祉課長)

現在3公立保育所で保育の中で基礎的な知識を学ばせています。就学前教育については検討していきたいと思っています。

質問①-2

湯浅町長期総合計画では就学前教育を公立保育所にも導入すると明記されているが。

答弁(町長)

就学前教育は必要だと考えています。十分検討したうえで実施していきたいと思っています。

質問②

次に2戸連住宅の払下げについて質問させていただきます。

先の6月議会で町がこれまで同和問題を解決するために取り組んできた政策に対する成果とこれらの課題が報告されました。その報告書の中で2戸連住宅について

は、払下げの方針が示されています。この報告書の策定の過程において、なぜ2戸連住宅の払い下げが同和問題の解決に繋がると考えたのか、お聞かせ願います。

答弁(町長)

二戸連住宅を譲渡したからといって同和問題が解決したとは、私は考えていません。二戸連住宅が持ち家となることで、入居者及び地域住民が「まちづくり」により一層関心を深め、住民環境に対する自立力が高められます。また、新しいコミュニティとして連帯感を拡げていくことが、地域の自立の促進や活力の向上、まちづくりに寄与すると考えています。

要望

二戸連住宅の払い下げについては二戸連住宅に住む住民のコンセンサスを得ながら取り組んでくれたらと思います。



町長の所信表明に関わって

①防災行政無線放送の充実 ②就学援助制度の現状と改善



山田 真里 議員

質問①-1

第3期上山町政の開始にあたり、町長にはこれからも、町民の暮らしに思いを寄せるとともに、公平で、計画的なまちづくりをすすめていただくことを願います。

町長が取り組む「安全・安心のまちづくり」に関わってですが、住民に一齐に周知できる防災行政無線放送は、活用方法が広がっています。

先日、室内で受信する防災ラジオの電気コードが故障したと相談されました。

ラジオの配布に際し定めた要綱には、保障期間（1年）の経過後の修理、買替え等は、使用者の負担としが規定されていませんが、どうしたらいいですか。

答弁（総務課長）

配布後8年が経過していることから、役場に故障の相談が寄せられることがあります。まだ在庫

品があるので、内容を確認のうえで交換させてもらっています。

町長

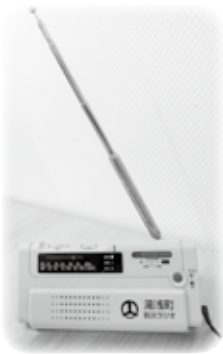
交換してもらえるところを広く町民に知らせていただきたいし、町民の生活に定着したラジオが、災害時に適切な防災情報を確実に伝達する手段として使用されるよう、今後の保守管理について明確にしていただくよう要望します。

質問①-2

青木、別所地区の町民から、屋外での放送内容が聞き取りにくいことがあったと伺いました。

答弁（総務課長）

放送の内容・方法に変更はありません。点検もしていますので、聞こえにくい場所がわかれば調査します。



質問②

「子育てのしやすいまちづくり」に関してですが、「子どもの貧困」が社会問題化するなかで、貧困対策を推進する法律が平成26年に施行され、就学援助の活用、充実に図るとされています。湯浅町は、クラブ活動費も対象とするなど努力されていますが、国の方針にそって、準要保護認定基準や支給時期を改善し、子どもの学びを応援してはどうでしょうか。

答弁（教育次長）

就学援助は、経済的に困窮した家庭の子どもを支え、学用品費や給食費などを援助する制度です。毎年4月にすべての保護者に書類を配布し周知しています。準要保護の認定は、実質、生活保護基準の1.1倍以上で利用しやすいように設定しています。支給時期の改善は近隣市町の動向を参考に学校と対応を検討したいと思っています。



防災について

小松 英夫 議員



質問

南海トラフ巨大地震等への対応としての避難施設ですが、全体的に少ないと思われるため、例えば旧湯浅信用金庫の建物に外階段を設けて避難施設にするとか、また、高台にある土地を協力してもらって避難の場にしてはどうか。また、避難場所として協力していただける民間の建物等の固定資産税の減額制度を作ってはどうか。

答弁（町長）

避難施設は十分ではないので、旧湯浅信用金庫についても議会と相談しながら検討したいと思っています。固定資産税については減額のための条例も今後考えていきたいと思っています。



美浜町和田小学校避難階段



旧湯浅信用金庫



これからのまちづくり 若い世代に支援を！



石橋 千歌子 議員

質問

私は、湯浅町は自然豊かで子育て支援も他町に劣らず充実している住み良いまちだと思っています。でも、現実問題として、9月1日現在の住民票基本台帳によりますと、昨年より233人の減少となつています。特に、出生数を死亡数が上回る原因での人口減少が続いております。

結婚意思のある未婚者の「結婚の障害」となる理由に「挙式や新生活の準備のための費用」との回答が男女とも最多を占めました。経済的な理由から踏み出せない人が増加すれば、子どもの出生数の低下につながり、少子化が更に加速する恐れがあります。

国が新婚世帯を対象に、結婚に伴う家賃や引越し費用の一部を支援する「結婚新生活支援事業補助金」を盛り込みました。

和歌山市では6月から「ハッピーウエディング事業」の名称で

実施し、若い人たちから喜びの声が上がっています。当町においても、若い世代を応援する事業について伺いします。



答弁（健康福祉課長）

「結婚新生活支援事業」は、経済的な理由で結婚に踏み出せない低所得者対象に、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する施策を実施し、地域における少子化対策の強化を図る事を目的とされています。

新規に婚姻した世帯で、世帯の所得が300万円未満の世帯に対し、住居の取得又は賃貸費用、引

越し費用に係る支援を行い、最大18万円を支援する制度であり、国が4分の3（13万5千円）、自治体が4分の1（4万5千円）の補助を行い結婚の新生活を支援する事業となっています。平成28年度では和歌山市が実施しており、当町についても、人口減少に少しでも歯止めをかけるため、今後、近隣の自治体の動向を鑑みて検討してまいります。

再質問

湯浅町の若い世代の人々は宝でございます。人口減少を防ぐためには、「結婚新生活支援事業補助金」の支援は本当に喫緊の課題と思い前向きに支援を。

答弁（健康福祉課長）

当町において、160組程の新婚世帯が誕生しました。当町の財政が大変厳しくなっている現状ですが、今後の検討課題としてまいります。



①山田地区の雨水排水について ②伝建地区の景観について ③今後の消火活動について

山家 敏宏 議員



質問①-1

四車線化により舗装面積が増加し、雨水の自然浸透の面積が減少する為、山田区の水路に流れる雨水等の流出量が増加すると考えていますが、増加するののか。

答弁（建設課長）

高速四車線化に伴い、雨水等の流出量は増加すると想定されております。

質問①-2

雨水が増加するという事ですが、町及びNEXCOの対応は？

答弁（建設課長）

NEXCOにおいて、建設前後の流出面積や流出量、水路等の流下能力の調査を現在進めております。また、調査流域を延長して山田川までとして、水路の流下能力の調査を依頼しております。

能力不足の場合は、新たに調整池などをつくって、流出量を抑制する、調整するという方向で検討

されています。

蓮池のしゅんせつについても協議を進めています。

要望

山田区の安全確保に引き続き努めて下さい。

質問②

伝建地区で、8月8日に起こった火災現場の後処理についてです。1カ月たった現状でもそのま

まの状態になっています。

近隣の方々に対し、悪臭の問題、建物の一部が強風で飛ばないかなどの心配等、多大な迷惑をおかけしているのが現状です。

伝建地区の入り口であるという事で、防火水槽の設置、高齢者、障害者の方を主とした駐車場を設置するという方法です。そのために、行政が土地の購入、または寄附を受けるといった方法もあると思います。この方法であれば早期に実施できると考えますがどうですか？

答弁（町長）

湯浅の伝建地区という中心地区ですので、議員が言われるように、何とかしなければならぬということは考えています。

いろんな方法を今検討し、対処する方向で検討しています。

質問③

消防団の意見を取り入れながら、消火活動備品の購入が必要だと考えますがいかがですか？

また消火栓の点検を消防団で行い不備があれば、総務課へ報告すると思いますが、今まで以上に早急な対応が必要ですが、いかがですか？

答弁（総務課長）

消防団員の意見を酌み入れる場をつくっていききたいと思っております。

消火栓等の不備につきましては、報告があった場合は、住民の生命と財産を守る設備ですので、優先して、整備していききたいと思っております。



①健康づくりの推進について ②防災対策について



松本 光成 議員

質問①-1

「国民健康保険税」と「介護保険料」の軽減、また、県下一「健康で明るいまち湯浅」実現のため、質問します。

町が実施している体操事業（フィットネス・ヨガ等）は、各課で実施しているため、その内容は異なり、多いところでは毎週4日開催し、全体で約380人の参加があります。今後、参加人数を増やす計画及び大きなばらつきのある参加費を見直す計画があるのか。また、がんや特定健診受診率は。

答弁（副町長）

体操事業等は、参加者を増やす努力はしているが、内容や金額等分かりづらいのも事実であり、見直して新年度に示したい。また、健康に関わる課室等の統一も検討したい。

がん・特定健診受診率は先進地

と比べ、高い率とはいえませんが、啓発活動として、チラシ配布や特定健診経年未受診者へ受診勧奨通知のはがきの送付等に努める一方、議員から提言のあった集団検診でのウェットティッシュ配布を行い、国民健康保険被保険者で特定健診や人間ドック等を受診された方に対し、抽選で商品券を贈呈しています。

質問①-2

町が実施するあらゆる健康づくり事業に参加した人にポイントを付与し、一定数貯まれば特典が得られる制度を実施してはどうか。

答弁（副町長）

大変貴重な意見であり、参考にして検討したい。



質問②

平成23年9月の紀伊水害以降県内の市町村において、土砂災害警戒区域の指定が増加し、最近の読売新聞和歌山版で土砂災害危険箇所数と警戒区域の状況が発表されたが、湯浅町は既に県の調査が終了しているのか。また、土砂災害危険箇所である青木区庁舎裏大谷池の工事進捗状況は。

答弁（総務課長）

今年5月から栖原地区で基礎調査が始まっており、県から町への意見聴取に際しては住民への説明を十分し、警戒区域が指定されれば、安全への周知と避難場所の確保など、避難体制の整備に取り組めます。

答弁（産業観光課長）

大谷池は、今年度底樋そこひの配水管の施工と仮設道路等を予定し、来年度は堤防本体と放水路の改修を行い、平成30年3月完成予定です。



米国ケンブリッジ市・ ブラハム市訪問報告

姉妹都市提携30周年を記念し、8月23日から28日まで姉妹都市と友好を深めるため、議会を代表し、訪問団に参加しました。

私にとっては初めての両市訪問でしたが、訪問団の皆さんと共にホームステイをし、市内の視察や記念式典に参加し、姉妹都市の皆さんと交流することで、さらに両市との友好関係が深まったと思います。

石橋 千歌子 議員



ブラハム市長を囲んで

平成28年度 有田地方全議員研修会

有田地方（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）の議会議員による全議員研修が10月20日（木）有田川町のきびドームで開催されました。垣内湯浅町教育長より「有田・城物語」と題した平安時代から江戸時代にかけての有田地方の歴史について、学びました。



研修風景



議会の傍聴にお越しく下さい

議会は公開されていますので、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

議会での議員の発言や町長の考えを直接見聞きすることができますので、お気軽にお越しく下さい。

次回の12月定例会は

12月7日(水)

開催予定です。



編集後記

いつまでも暑さの残る今年の秋ですが、いかがお過ごしでしょうか。

広報編集委員会の委員長に就任し、一年半を迎えます。この間、町制施行120周年記念として表紙を「今昔写真」で飾るなど、親しんでいただける紙面づくりに委員の皆さんと努力してきました。

毎朝のウォーキングでは、季節を楽しみながらもつつい編集材料を探しています。皆様もどうぞアイデアをお寄せ下さい。

（山本 年哲）

議会広報編集

常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
石本	松本	石橋	山田	山本
一也	光成	千歌子	真里	年哲

